



平成30年度堅果類豊凶調査結果及びツキノワグマ出没予測をお知らせします

ツキノワグマは、秋に堅果類(ドングリの仲間)を食いだめして冬ごもりをします。そのため、山に堅果類が少ない年には、餌を求めて人里へ出没する傾向があります。

県では、堅果類の結実状況を調査し、その結果により今秋のツキノワグマの出没予測を行いました。

1 平成30年度堅果類豊凶調査の結果（調査基準は別紙のとおり）

ブナは大凶作～並作、ミズナラ、コナラは凶作から大豊作まで、地域によってまた単木ごとのばらつきが大きい。クリ・クルミ類は、全県的に一定程度の堅果類の結実が見られる。

【樹種別】

- ミズナラ : 凶作～大豊作 (H29: 凶作～豊作)
- コナラ : 凶作～大豊作 (H29: 不作～豊作)
- ブナ : 大凶作～並作 (H29: 凶作～不作)
- クリ、クルミ : 並作 (H29: 並作)

【地域別】

- 東信地域：いずれの樹種も凶作から豊作と地点ごと、単木ごとの差が大きい。
- 南信地域：いずれの樹種も地点差があり、諏訪、南信州地域で並作以下が多い。
- 中信地域：地点ごと、単木ごとに差が大きい、昨年より全体に堅果類の着果がみられる。
- 北信地域：ブナは並作のところのみられ、それ以外の樹種も地点差はみられるが、昨年より着果がみられる。

【参考】

中部森林管理局による国有林の『堅果類（ブナ等）の豊凶調査結果について』

- 長野県内の平均としては、ブナ、クリ、クルミ類は並作下、ミズナラ、コナラ、クヌギは不作、トチは並作となっています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/press/sidou/180912.html>

2 ツキノワグマの出没予測

- 全県では、全樹種に地点差があるものの、一定程度の結実が見られることから、**クマの大量出没の可能性は低い**が、全体に地点ごと、単木ごとのばらつきが大きく、クマの行動範囲が広範に及ぶ可能性があり、**キノコ狩りなどで入山する場合は、遭遇の危険があるのでご注意ください**。
- ナラ類の着果量が少ない浅間山麓、木曾地域では、**森林に近い農地周辺などで里地のカキやクリなどを求めて出没が増える可能性があり**、十分な注意が必要です。

3 県民の皆様へのお願い

- 長野県内の森林は、クマがどこでも生息しています。
- **クマ対策の基本は、「クマにあわない」**ことです。キノコ狩り等で森林内に入るときは、**複数での行動や、鈴等の音を鳴らしながら行動するように心がけ、出会いがしらの遭遇を回避してください**。
- 人里での餌を覚えたクマは出没を繰り返すので、**柿など不要な果実や野菜、生ゴミ等は適正に処理して、人里の作物等がクマの餌にならないよう注意してください**。
- しかし、万が一遭遇してしまったときは、クマから目を離さず、ゆっくりとその場を離れてください。背を向けて走って逃げると、クマは追いかける習性があります。

確かな暮らしが営まれる美しい信州
～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中

林務部 森林づくり推進課 鳥獣対策・ジビエ振興室

（室長）中崎史生 （担当）三枝哲一郎

電話：026-235-7273（直通）FAX：026-235-7279

E-mail cho-ju@pref.nagano.lg.jp

林業総合センター育林部（部長）西岡泰久（担当）柳澤賢一

環境保全研究所自然環境部（部長）陸 斉（担当）黒江美紗子

堅果類の豊凶調査基準について

長野県鳥獣対策・ジビエ振興室

1 堅果類の豊凶判定基準

(1) 樹冠全体の着果状況

樹冠全体を観察して着果度を次の6つから判定する。

- まったく着果が見られない
- ① 樹冠の一部疎に着果が見られる
- ② 樹冠の一部密に着果が見られる
- ③ 樹冠の全体疎に着果が見られる
- ④ 樹冠の半分程度密に着果が見られる
- ⑤ 樹冠の全体密に着果が見られる

(2) 枝の着果状況

着果見られる枝を観察して着果度を次の2つから判定する。

- ① 疎に着果している→枝先に1、2個着果している
- ② 密に着果している→複数の枝先に平均3個以上着果している

(3) 着果度ランクの判定

樹冠及び枝の着果状況から単木の着果度ランクを決定する。

樹冠全体の着果状況	枝の着果状況	着果度ランク
○ まったく着果が見られない		0
① 樹冠の一部疎に着果が見られる	① 疎に着果している	1
② 樹冠の一部密に着果が見られる	② 密に着果している	2
③ 樹冠の全体疎に着果が見られ	① 疎に着果している	3
④ 樹冠の半分程度密に着果が見られる	② 密に着果している	
⑤ 樹冠の全体密に着果が見られる	② 密に着果している	4

(4) 調査票への記入

樹種ごとに単木の着果度ランクを判定し、平均値を調査票に記入する。

2 着果度ランク平均値による豊凶判定

	着果度ランク	豊凶判定
凶作 ～ 不作	0	大凶作
	～0.3 未満	凶作
並作	0.3 以上～1.0 未満	不作
	1.0 以上～1.5 未満	並作下
	1.5 以上～2.0 未満	並作
豊作	2.0 以上～2.5 未満	並作上
	2.5 以上～3.5 未満	豊作
	3.5～	大豊作